

## 2. 就労状況と生活リズム

2つ以上仕事をしている世帯は睡眠時間が短く、経済状況が厳しく、子どもと一緒に夕食をとっていないことが多い。

図9：就労状況別に見た睡眠時間の比較（母子世帯の母親）

2つ以上仕事をしている母親は1つだけ仕事をしている母親や仕事をしていない母親に比べ、睡眠時間が短い。（2つ以上仕事をしている母親は6時間未満の睡眠と答えた割合が45%、1つだけ仕事をしている母親では27.5%、就労していない母親では29.4%。）

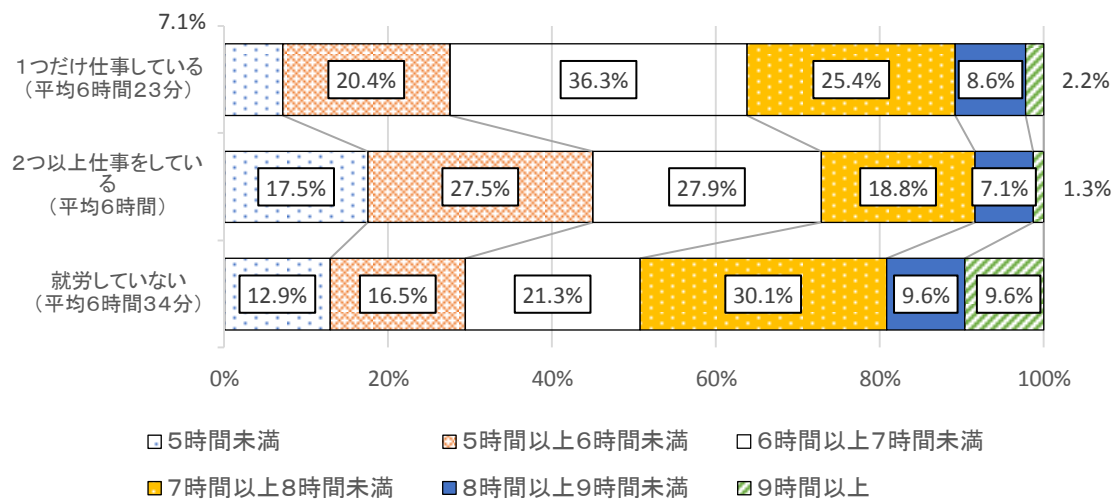


図10：就労状況別に見た睡眠時間の比較（父子世帯の父親）

2つ以上仕事をしている父親は1つだけ仕事をしている父親や仕事をしていない父親に比べ、睡眠時間が短い。（2つ以上仕事をしている父親は6時間未満の睡眠と答えた割合が33.3%、1つだけ仕事をしている父親では20.5%、就労していない父親では0%。）

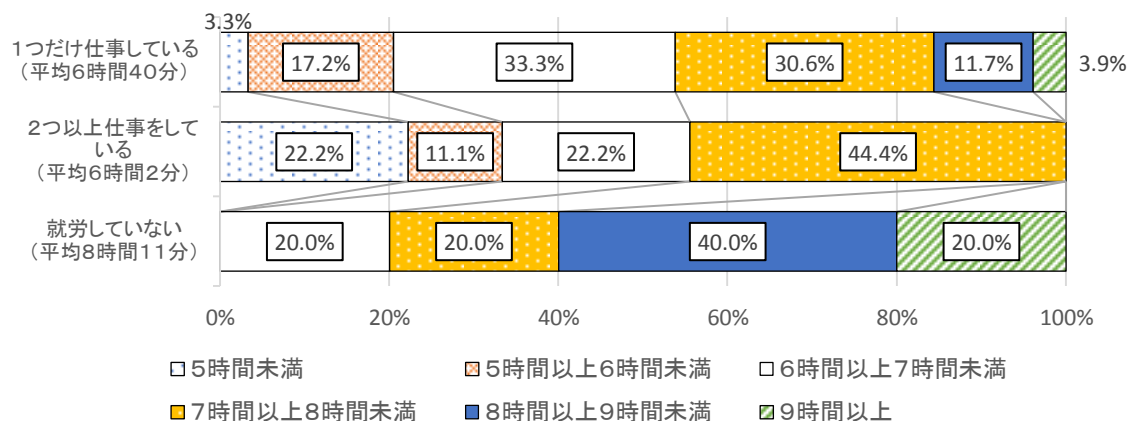


図 11：就労状況別に見た本人の昨年 1 年間の就労収入（万円）

母子・父子ともに、1つだけ仕事をしている親より2つ以上仕事をしている親の方が平均就労収入が少ない。（母子1つ201.7万円、母子2つ176.6万円、父子1つ375.7万円、父子2つ265.3万円。）

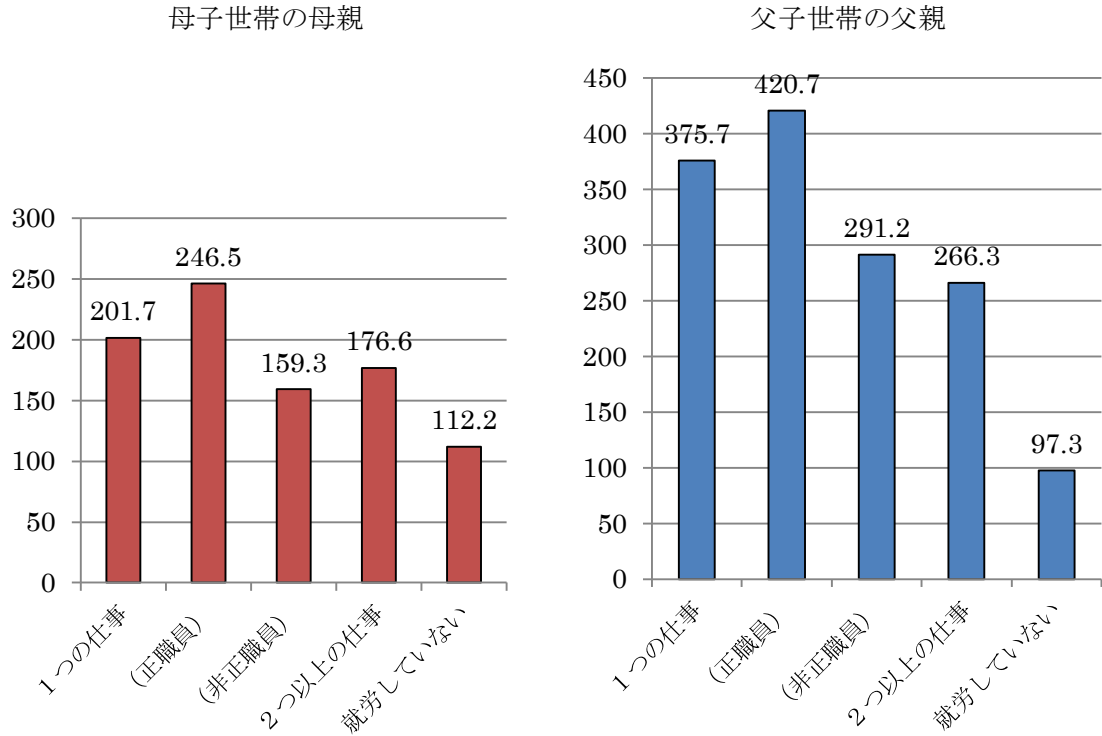


図 12：就労状況別に見た子どもと一緒に夕食をとっている程度（母子世帯の母親）

2つ以上仕事をしている母親は、子どもと一緒に夕食をとる機会が少ない。（ほとんど毎日子どもと一緒に夕食を食べる割合：2つ52.1%、1つ61.6%、就労していない76.4%）

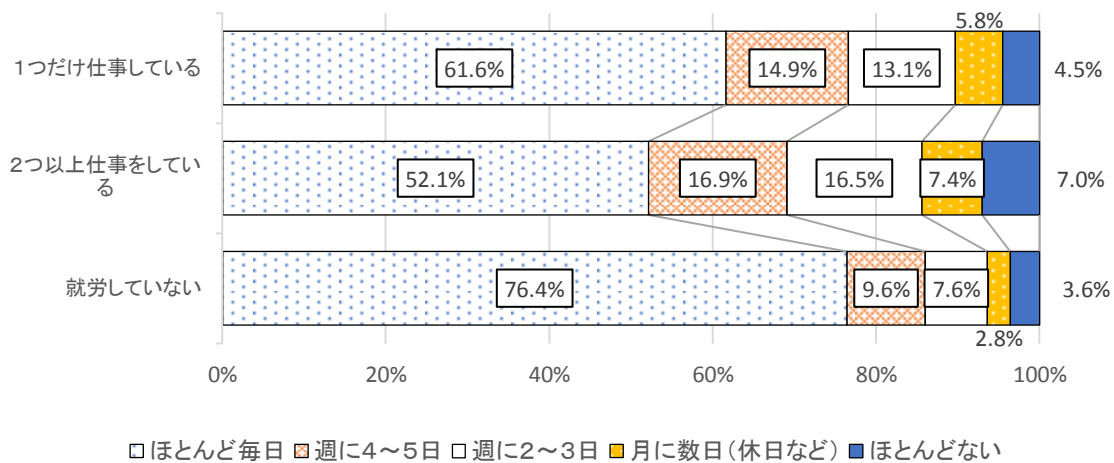


図 13: 就労状況別に見た子どもと一緒に夕食をとっている程度(父子世帯の父親)

2つ以上仕事をしている父親は子どもと一緒に夕食をとる機会が少ない。(ほとんど毎日子どもと一緒に夕食を食べる割合: 2つ20%、1つ41%、就労していない60%)

